

長浜市森林ディレクション審議会（平成28年度第3回）要点録

【日時】 : 平成29年3月28日（火）10:00～11:40

【場所】 : 長浜市役所1階 多目的ルーム1

【出席委員】 委員9人（敬称略）

特定非営利活動法人妙理の里 片山 由文

内保製材株式会社 川瀬 文明

長浜市伊香森林組合 高橋 市衛

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 高橋 卓也

公募市民 藤井 克博

滋賀県猟友会北部有害鳥獣捕獲組合 藤田 和司

伊香具山友会 横関 隆幸

長浜市森づくりクラブ 横田 光代

滋賀県湖北森林整備事務所 原 滋治

市 4人

森林整備課 大澤課長 （事務局）

森林整備課 永井課長代理（事務局）

森林整備課 花澤主幹 （事務局）

農林課 藤田課長 （オブザーバー）

【議事概要】

（1）長浜市森づくり計画（長浜市森林整備計画）の変更について

花澤主幹より資料1を基に説明。

（2）平成29年度事業と予算について

永井課長代理より資料2を基に説明。

（3）その他

- ・委員の任期について（花澤主幹）
- ・ながはま森林マッチングセンターについて（藤田課長）
- ・長浜市の取組み事例紹介（花澤主幹）
- ・今後のスケジュールについて（花澤主幹）

資料3及び参考資料を基に説明。

【要点録】

- ・永井課長代理：平成28年度第2回長浜市森林ディレクション審議会開催
- ・大澤課長：あいさつと審議事項について説明
- ・花澤主幹：資料1から順に長浜市森づくり計画（長浜市森林整備計画）の変更について説明

●長浜市森づくり計画（長浜市森林整備計画）の変更について質疑応答

会長：獣害対策を森づくり計画に反映させるのは国や県等の補助金が背景にあるのでしょうか。

市：計画の変更に伴い、森林経営計画制度が見直されています。この制度は5年を一期とする森林経営の中期的な計画で、今後植栽をする場合には、計画に定める獣害防止に関する事項を必ず実施する必要があります。経営計画は各種の補助金の要件となっている場合があります、国や県から補助金がつくことになります。

会長：資料を見ているとニホンジカによる被害は幅広くカバーできていると思うが、委員のみなさんはいかがでしょう。

委員：余呉は雪が多く、その時期になると、ニホンジカは奥山に移動するが、4・5月は草を食べに里山に戻るので、どんどん地域も変わっている。獣害の対策にはニホンジカが移動することを前提に対応できているのか。

市：移動に踏み込んだ対策は課題であると認識しています。

委員：国有林との連携を入れたらどうでしょうか。

会長：森林組合としてはどのように感じていますか。

委員：保護措置等、比較的安価の方が取り組みやすいと思う。防護柵は、雪の影響を考えるとあまり現実的ではないと感じます。回数をやる必要はあるが、忌避剤が向いている。

会長：国有林との連携、忌避剤の導入も含めていく方向でどうでしょうか。

委員：ご意見を参考に内容の見直しを検討します。

●平成29年度事業と予算について質疑応答

委員：森林ビジネスを何とか考えていきたいと思っています。投資をどうするのか。インターネットを通じた基金を考えています。バイオマス事業の浸透について今後5年間で民間でも成り立つように、下支えを市民団体で行っていききたいと考えています。そういう意味で説明のあった事業と予算は方向性として合っていると思います。

会長：長浜市には、森林ビジネス、クラウドファンディングの可能性を感じているところですが、平成29年度事業として実施するのでしょうか。

市：5年計画で森林のビジネス化を目指し、山側の課題について、若い力を活用しながら盛

り立てていく方針であります。また、来年度、市民活躍課では10名の地域おこし協力隊の募集を予定していますので、市域に住みながら、こうした取り組みと協働して森林ビジネスの構築を推進していきます。市産材のPRも必要であると考えています。

会長：以前聞いたトビムシの事業、岡山県の例を参考に新しいことができれば良いかと思う。

委員：企業や関係者が投資して生活が良くなったと思えば、更なるバックアップが期待できるので、森林ビジネスの方向性としては良いと思います。

委員：何か事業を行うときに若い人の力をとよく言われるが、長浜市は65歳以上が増えていきます。退職したが仕事がないという人が多いので、シルバー世代の活躍を考えていく必要があると感じます。体力は落ちるが、報酬は求めないし、いままでの経験等を社会に還元したいと思いを抱えている人は結構います。長浜市はシルバーの団体も多いので参加者が増えるのではないのでしょうか。その方向でどうか考えていく必要があると思います。

A：市には森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用しながら森林整備をされている団体が20ほどあり、意識も高いのでセカンドライフという意味で考えていきたいと思っています。

会長：仕掛人（トビムシ）に案件を考えて頂いて、需要があれば雇用も増えるのではないのでしょうか。

市：市には公共建築物向けの基金があり、これを民間、個人にも活用いただける仕組みづくりが必要であると考えています。こうした仕組み作りを審議会でもぜひ検討いただきたいと考えています。

委員：住宅ローンの金利について市産材を使うと安くなるなど、金融機関とタイアップしていくのはどうでしょうか。まだ他には例がないと思いますので。

●その他

（１）委員の任期について

会長：任期は年度に合わせた方がやりやすいと感じますが。

市：来年度は任期満了後の11月から3月にかけて次の人選を固め、平成30年度当初からは新体制で審議会を運営できることになります。

結果 ⇒ 任期は平成29年10月26日までとすることで審議会の承認を得た。

（２）ながはま森林マッチングセンターについて

会長：マッチングセンターの市民への浸透度はどのくらいあるのでしょうか。

市：情報の発信および周知が不十分であったと認識しています。

委員：チェーンソー講習は、1日～2日かけて研修したほうが良いと思います。1時間程度の研修ではあまり意味がなく、遊びと実践では違いがあるし、期間と時間をかけて研

修をしてはどうかと思います。

委員：高齢者等はインターネットを利用する機会が少ないので、広報の仕方についても検討していただきたいと思います。市の広報や他市の窓口等でパンフレット等を置いてもらい周知することもひとつの対応ではないかと思います。

市：マッチングセンターでは昨年 11 月に 3 日間の就労体験を 2 クール実施しました。東京、兵庫といった都市部からの申し込みがあり、効果はあったと感じています。

予算の関係もありますが、ご意見を参考にインターネットを利用されていない方への対応やパンフレットの設置について検討して、口コミによる認知の浸透についても期待していきたいと思います。

（３） 長浜市の取組み事例の紹介および今後のスケジュールについて

林野庁発刊の情報誌「林野」における長浜市の取組み事例の紹介

および来年度の審議会開催スケジュールの予定について事務局より説明

⇒質疑なく議事終了

●会議終了